

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課		
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	財産管理監視G	課長名	日野誠	
	施策名	(37)時代にあった行政サービスの実現	担当者名	南波真二	電話番号	0854-40-1025	
	目的:対象	行政機能	意図	効率、公平なサービスを提供する。	(内線)	3558	
	基本事業名	(111)公共施設の見直し	予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	公の施設	意図	見直しを図る。	項	目	中事業	03市有施設等管理事業
				業名	中事業	業名	01総務管理事業
						業名	02庁舎管理事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
本庁舎、分庁舎、分庁舎別棟、議会棟、新市書庫に係る施設維持・修繕及び管理業務

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・本庁舎、分庁舎、分庁舎別棟、議会棟、新市書庫に係る施設維持及び管理業務 ・大東分庁舎解体工事(木造倉庫部分)	26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・本庁舎、分庁舎、分庁舎別棟、議会棟、新市書庫に係る施設維持及び管理業務			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 施設の数	ヶ所	5	5	5	5
	イ 維持管理経費	千円	32,366	37,656	31,254	30,611
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	庁舎	ア 施設数	棟	5	5	5	5
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①事務に支障が生じないように維持する ②各種施設の維持及び修繕を図る ③維持管理経費の節減に努める	ア 修繕件数	件	26	31	50	20	
	イ 修繕費	千円	2,064	1,351	2,108	1,400	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
総務管理事業 12,374千円 庁舎管理事業 18,880千円 消耗品費 3,487千円 通信運搬費 5,427千円 賃借料 3,225千円 燃料費 1,535千円 光熱水費 10,231千円 修繕費 2,108千円 委託料 2,866千円 その他 2,375千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費計(A)	地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	32,392	37,656	31,254	30,611
	事業費計(A)	千円	32,392	37,656	31,254	30,611
	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	4
		延べ業務時間	時間	3,928	1,629	930
		人件費計(B)	千円	15,484	6,382	3,620
	トータルコスト(A)+(B)	千円	47,876	44,038	34,874	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
庁舎の老朽化が目立ち、修繕を要する箇所が多数存在する。	EMSでの取り組みを通じて、光熱水費等を縮減、印刷機の導入、各種業務委託の契約金額削減を実施。また、予算の範囲内で照明・トイレ修繕を実施、電話内線化による通話料削減等実施してきた。	駐車場の確保について要望が出ている。

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 暫定庁舎のため施設の分散や老朽化による修繕箇所が多く発生して、業務遂行上好ましい状況ではない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 庁舎管理事業の廃止はあり得ない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 庁舎の管理は、当該庁舎外に配属している職員が対応することは困難であるため、現状のままでは他の庁舎施設(総合センター等)管理と統合することはできない。庁舎施設を集約した場合は可能となる。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 省エネ活動について庁内での周知等を行い、光熱水費、コピー使用料等の削減を行ってきた。既存の庁舎ではこれ以上の削減は困難である。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 現在でも可能なもの(清掃委託、警備委託等)は外部委託により対応している。既存の庁舎では削減余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 庁舎の維持・管理業務は市全体に対する行政サービス供給の前提条件となっている。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 現状可能な限り対応をしているが、予算の制約上、優先順位を付けて対応せざるを得ず、最低限の執務環境維持にとどまっている。また、省エネ活動について積極的に実施しているが、庁舎の老朽化が進んでおり、対応が難しい面がある。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
現在の庁舎の老朽化・狭隘化という諸問題については解決が困難な現状にあるため、緊急的問題をその場ごとに解決し、新庁舎建設が建設されるまでの間、最低限の執務環境を維持していきたい。																			